

二四四七番

白玉しらたまを 手てに巻まきしより 忘わすれじと 思おもひしこと
は なにか終をはらむ

二四四八番

白玉しらたまの 間あひだ開あけつつ 貫ぬける緒をも くくり寄よすれ
ば またも合あふものを